

令和4年度 千歳市市民評価会議議事録

| | | | |
|-----|----------------------------|----|-------------|
| 会議名 | 市民評価会議（第8回） | | |
| 日時 | 令和4年7月11日（月）14：00～16：10 | 場所 | 市役所本庁舎2階庁議室 |
| 出席者 | 市民評価委員 6名、アドバイザー 1名、事務局 3名 | | |

| | |
|------|--|
| 会議概要 | <p>今年度市民行政アセス対象となった10施策について、各委員から出された意見に基づき、事務局で評価報告書（案）として取りまとめ、市民評価会議に諮った。</p> <p>本会議において、評価報告書の加筆修正を行い、内容について全委員の承認を得た。</p> |
|------|--|

ヒアリング・評価内容

評価報告書（案）全体の内容確認

【委員A】

5ページの「（1）評価におけるポイント」の一番下にある「評価及び理由・意見については、新型コロナウイルスの影響を踏まえたものとしておりません。」について、次の評価のときに新型コロナウイルスの影響がないとは限らないので、残しておいたほうがよい。

「（2）評価全般に関する意見」の最後に「適宜見直しを行いながら」とあるが、この書き方だと、施策全体の見直しという意味に捉えられてしまう可能性があるため、「適宜指標の見直し」としたほうがよい。また、については一文が長く感じるため、分けたほうがよい。「情報の公開にとどまらず、事業の周知・啓発、更には事業の推進につなげる必要がある。したがって、」としてはどうか。

【委員B】

「事業の推進につなげる必要がある。」を「事業の推進に寄与しなければならない。」とするのはどうか。

【委員A】

について、「～を示すことや理解促進を行っていただきたい。」を「～を示し、理解の促進を行っていただきたい。」に修正したい。

に「他施策」という言葉が2回出てくるので、2回目は「他との」としてはどうか。また、「将来像などについて」を「将来像などを」に修正し、なるべく話し言葉に近い文章にしたい。

（1）広域行政の推進

・評価結果「維持」

【委員A】

「広域行政の推進」を行っていることについて、市民に知ってもらうことが重要。

【アドバイザー】

広域連携していることを知らない市民が多い。報告書には、周知・PRについて記載している。

【委員A】

ほかになければ、特に修正はなしとする。

(2) 航空機騒音対策及び防衛施設周辺対策の推進

・評価結果「維持」

【委員A】

「意見」の2番目に「今後は市民と一体となった施策の展開を行っていただきたい。」とあるが、広い意味合いで市民と一体となって進めてほしいので、「施策・事業」としたほうがよい。

【委員B】

「意見」の3番目に「本市は防衛予算による各種の恩恵を受けている」とあるが、空港の航空機のこともあるので、「防衛予算」に限らないほうがよいのではないかと。

【委員C】

「恩恵」という言葉は様々な受け取り方があるので、ほかの言葉に修正したほうがよいのではないかと。

【委員B】

第7期総合計画の「目指すところ」の文章がうまくまとめられているので取り入れるとよい。

(3) ごみの発生抑制とリサイクルの推進

・評価結果「維持」

【委員B】

「理由」の3番目と「意見」の3番目に「LINE」と具体的な名称が記載されているが、「SNS」などの抽象的な言葉に修正したほうがよいのではないかと。

【委員C】

「意見」の1番目に「SDGs」という言葉があるが、「SDGs」となると他課との連携や、他課の事業が関係してくると思う。今回、環境センターへの意見として報告することになり、担当課として思うところはあるかもしれないが、重要な部分なので記載させてほしい。

【委員A】

「理由」の1番目より、2番目のほうが基本的なことを記載しているので、順番を逆にしたほうがよい。

(4) 適正で効率的なごみ収集・処理の推進

・評価結果「維持」

【委員A】

この施策は、市民生活のベースになるものなので重要である。

【アドバイザー】

順番は変えたほうがよいかと。

【委員A】

基本的なことを1番上に記載するので、「理由」の1番目と2番目を入れ替えたほうがよい。

(5) 快適な学校施設の整備

・評価結果「維持」

【委員B】

「意見」の2番目の「宅地造成や土地開発の状況を把握し、適切に学校設備の更新や調整を行う必要がある。」という文章がしっかりこない。

【アドバイザー】

これは、今後生徒が増加する地区があり、教室が足りなくなることについて明記したものである。

【委員B】

「学校設備」を「学校施設」に修正するのはどうか。

【アドバイザー】

「調整」の前に「過大規模校の解消など教育環境の」と追記したほうがわかりやすいと思う。また、「理由」にみどり台小学校の建設について記載したほうが、学校施設の整備に対する意見の意味が伝わりやすいのではないか。

【委員A】

この施策に対する「理由」と「意見」は、「学校施設の整備」と「ICT機器の整備」の2本柱なので、分けて明確に記載したほうがわかりやすい。

(6) アイヌ文化の保存・継承と普及・啓発の推進

・評価結果「拡充」

【アドバイザー】

「理由」について、基本的なことを先に記載するのであれば、順番を入れ替えたほうがよい。

【委員A】

現在、担当は1人なので、市職員に対する啓発や、他施策との連携が重要になってくる。特に修正はなしとする。

(7) 水道・下水道施設の適切な維持管理の推進

・評価結果「維持」

【委員C】

「意見」の1番目に「分流化」とあるが、担当課としてはこのままの記載でよいのか。

【事務局】

資料では「合流改善」となっていたので、念のため担当課に確認する。

【委員C】

市民にとっては、「分流化」も「合流改善」もわかりづらいかもしれない。

【事務局】

市民にとってわかりやすい記載となるよう調整する。

(8) 水道・下水道事業における災害対策の推進

・評価結果「維持」

【委員C】

「理由」の1番目に「重要給水施設への配水管を計画的に更新」とあるが、事業名と合わせて「配水管整備」としたほうがよいと思う。

【委員D】

「意見」の1番目に「町内会などを通じて市民に対する本施策の重要性などについての理解を促進することが必要である。」とあるが、町内会に加入している市民は5～6割程度なので、町内会と記載するだけでは弱いのではないか。

【委員E】

「町内会などを通じて」のあとに「広く」を追加するのはどうか。

【委員C】

災害時に想定される事態について、市民に周知してほしいという趣旨であれば、町内会と記載せずに、「広く市民に対して」にしてもよい。

【委員B】

防災訓練などは危機管理課が担当しているので、どこまで報告書に記載するかの判断が難しい。

【アドバイザー】

災害対策は経営管理課だけではなく、他課の施策も関係することから、「防災関連施策と連動した取組を強化し」と記載している。

(9) 優良農地の確保

・評価結果「維持」

【委員A】

施設を維持するために改修するので、施策としては「維持」だと思う。

【委員C】

新たな施設を作るわけではなさそうなので「維持」が妥当だと思う。

【委員B】

他課や関係機関と情報共有し、市内の状況を把握したほうがよい。

【委員A】

農地を拡大しても、耕す人がいなければ意味がない。

報告書については、修正なしとする。

(10) 母子保健対策の充実

・評価結果「維持」

【委員A】

「意見」の1番目に「事業の統合や効率化、わかりやすさを意識した情報提供」とあるが、「事業の統合」ではなく「グルーピング」である。事業が細かいので、グループ分けをして、そのグループ名を市民に伝えたほうがわかりやすいと思う。「グルーピング」という言葉がわかりづらいのであれば「グループ化」にしてもよい。

【委員F】

「意見」の3番目の「メンタルヘルスなどの状況を捉えた保健事業等の推進」について、母子保健課だけで実施する事業ではないので、「メンタルヘルスなどの状況を捉え、他課と連携した保健事業等の推進」に修正したほうがよい。

【アドバイザー】

他課との連携が見えづらいので、記載する。